

篠井富屋連峰山行報告

【山行日】2019年1月6日(日) 晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30

【費 用】マイカー1台 : 1200円

【メンバー】CL: 鈴木ユ 安西、大西、岡、石澤、
関、五月女、福島、福田夕

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:30＝

こどもの森公園 P7:10/7:40～榛名山 8:40/8:50～

男山 9:10～本山 9:40/9:50～飯盛山 10:40/10:50

～高館山 11:40/12:20～黒戸山 12:50～駐車場所

13:00＝こどもの森 P13:00/13:10＝栃木市運動
公園 P14:50



個人山行で篠井富屋連峰に登りたいとリクエストがあり、榛名山から黒戸山まで縦走を計画した。こどもの森公園駐車場に到着し、皆さんが靴を履き替えた後、黒戸山下の駐車スペースに車を置きに行く。こどもの森公園に戻り、ストレッチを済ませて出発する。駐車場から宇都宮冒険活動センターへの園内道路を登り、左側にある登山道入り口から山道に入る。ところが入口にロープが張ってあり、「伐採作業の為通行禁止」の札が下がっていた。



日曜日だし朝も早いので伐採作業は無いだろうと、自己責任で通過することにした。スギ林の中を進むと伐採した杉の枝が落ちていて、とても歩きにくい。さらに登ると枝が重なり合った上を歩き不安定で、ゆっくりと慎重に歩いて行く。重なり合った枝で登山道も見えなくなり、以前歩いた記憶を頼りに登って行く。やっと伐採地帯を脱出し、登山道が見えて安心して登れるようになる。稜線まで登り、右に進んでほんのひと登りで、

最初のピーク榛名山に着いた。山頂で展望を楽しみながら休憩し、記念写真を撮ったら次の男山に向かう。

分岐まで戻りそのまま直進すると、まもなく男山山頂に出る。山頂からの展望が良く、高原山の優美な姿が印象的だった。次の本山へはほんの少し戻り、そのまま直進すると本山の山頂に着く。本山は本日登る6座の最高峰で三等三角点が置かれ360度の好展望が得られる。短時間で3座を制覇し、眺望を楽しみながらゆっくりと休憩を取る。飯盛山へは分岐まで戻り、道標に従って下篠井方面へ向かう。少し進むと急降下になり、小さなピークを3つ越えて下り切った平坦地に道標がある。



道標には「飯盛山」の表示があり、東へ5分ほど進むと鉄塔の脇の急坂を一気に登って行く。

飯盛山山頂は平らで広く、葉の落ちた木立の間から展望も得られる。Oさんのアミノバイタルゼリー



や菓子などを食べ、エネルギーを補給したら次の高館山に向かう。飯盛山からの急降下は本日の最大の難所で、滑りやすい斜面を木立やロープを頼りに慎重に下る。急降下を過ぎ、小さなピークから左に下ると林道に出る。林道を左に進み、カーブの先の右手に案内板があり、ここから右のスギ林の中に入って行く。すぐに青嵐峠の十字路があり、ここを南に緩やかに登り、高館山の標識に従って左に登ると高館山山頂に着く。

山頂は平坦で広く、石祠が置かれ樹林に囲まれて

展望は無い。ここでランチタイムとし、定番のキノコうどんを作る。

出汁巻き卵や漬物などが並び、温かいうどんと一緒に美味しくいただいた。

山頂から分岐まで戻り、左折してすぐに黒戸山方面への道標がある。ここから先は今までの登山道と違い急登・急降下が無く、安心して歩ける。

ヒノキの植林帯を行くと十字路に出て、直進すると明るい尾根道に出る。やがて平坦なスギ林に入り、道標に従って右に折れ70~80m登るとT字路の尾根に出て、すぐ左に黒戸山山頂がある。山頂の先で左折し、杉林の道を少し下ると林道の終点に出る。

さらに林道を100mほど下り、左へ分岐道を見送り直進すると舗装の林道に出る。

林道を左に進み、200mほど下ると駐車スペースに愛車が待っていた。車に乗ってこどもの森公園までもどり、靴を履き替えトイレを済ませたら

2台に分乗し帰路につく。帰りは国道293号線を通り、途中の道の駅「ロマンチック村」に寄り、野菜や花などをゲットして無事栃木市運動公園に帰着した。

